

第 8 期 第 4 回川口 ARAKAWA フォーラム 議事概要

●日 時：2012 年 3 月 26 日（火）18:30～21:20

●場 所：川口市役所第 2 庁舎 地下第 1 会議室

●参加者：委 員）西尾三枝子、堺かなえ、林美恵子、正田洋一（4 名）

参 与）吉野 浩、新田光一（2 名）

事務局）綿引、安田、畔蒜、榎本（4 名）

●配布資料：川口 ARAKAWA フォーラム第 8 期第 4 回議題

資料 1 荒川将来像計画 2010 地区別計画【たたき台】〔川口市〕

資料 咲かせよう 戸田の花 サクラソウ植え付けイベント

資料 堅川の水辺をきれいにしようよ 堅川クリーン作戦に参加しませんか

●議事概要

1. 議事録確認委員の選出

第 4 回会議の議事概要確認委員には林委員が選任された。

2. 情報提供

○委員より

資料「春の荒川クリーンエイド」と「戸田ヶ原サクラソウ自生地復活見学研修に参加しませんか」の説明があった。

○荒川下流河川事務所より

3 月 8 日に開催された荒川の将来を考える協議会の報告があった。

足立区と江東区の地区別計画が策定。情報提供が 3 点あり、1 点目が緊急用河川敷道路の自転車通行帯の社会実験について。足立区の緊急河川敷用道路の堤防際に、延長 1.2 km 程度水色のラインを引き、自転車がそのライン内を通行する試行を先週から 10 月下旬まで行っている。実際にどういう問題があるのかとりまとめ、今後の対策を検討する。もう 1 点が舟運の協議会である。緊急用船着き場は、普段からある程度使っていないと災害時に使えないので、普段の利用促進を検討している。最後に今年度と昨年度 2 年間やってきた、明治 43 年大洪水から 100 年の広報の報告をした。荒下ホームページのトップに内容載せているので、見ていただきたい。

3. 討議事項

議 長：地区別計画たたき台について二度の運営委員で話したことをまとめていただいたので、1 ページずつ確認していきたい。

荒下事務局：P1 は各市区の思いを入れていただく箇所、川口市の特徴や鳩ヶ谷市との合併等市の思いが入っている。

委 員：リーディングシティというカタカナ言葉が使われているが、これはどういう意味か。

川口事務局：川口市はまだ政令指定都市ではないが、これから政令指定都市を目指していくという市長の思いがある。また、政令指定都市より大きくないから小回りが利き、機動的に対応はできるのではないかという思いがある。

委員：あまりこなれていない言い方だが、市長の思いでこれを入れたいということか。

川口事務局：埼玉県をリードしていく、そういうまちになりたいという思いがある。市長は子どもたちの環境教育に一番思いがあったので、水辺の楽校を認定されたというのは、荒川に対する一番大きな思いなのかというのがある。本編にも入れたいと思っている。

議長：言葉どおりになればいいと思う。P.5 で市民学習より環境学習にしたほうがいい。あと、ハザードマップがあることはこの文章の中に入れたほうがいいのか。

委員：ここは防災についてもっと厚くしたほうがいいのかという話があり、全体を広域避難場所に指定されていること、ハザードマップがあるということ、川口の場合は内水氾濫が課題になっていることがこのあいだあったかと思うので、ハザードマップとその他の防災についてということだと思う。

川口事務局：防災訓練の写真は何かあるか。

川口参与：この前中止になったので、良い物が無い。

委員：災害対策室で消防ポンプを使った訓練の写真などは持ってないか。

川口事務局：三領水門でやった消防訓練の写真はある。

川口参与：仮設トイレは全部ここに用意されていて、その設置訓練の写真はある。壊れた建物とかは全部ここに作った。ただ開催されなかったで壊れた建物だけの写真である。

川口事務局：ここだけに限定せず、三領水門の放水訓練や毎年やっている放水等荒川河川敷全体の協議会で使った写真が幾つかあるので、確認して何枚か入れたい。

議長：ハザードマップがあることに触れるのはよいか。

委員：ハザードマップが公表されている、存在していることを1行入れたほうがいいのかと思う。ホームページとかで見られるので、URLを入れてもいいと思う。ハザードマップを知らない人もいるかもしれないので。

議長：P.6 はどうか。生物多様性という単語が分かりづらい。

荒下事務局：生物多様性という言葉は川口市が施策として入れているので、入れるかどうかは川口市の判断でいいというのが前回の話だった。

委員：昔よりかなり浸透してきた。ちゃんと理解してはいないが、生き物が多種いることが自然環境としていいという単純なイメージかもしれないが。

川口参与：生態系という言葉よりこっちのほうが分かる。

川口事務局：P.6 で「住民」は「市民」で統一したほうがいい。同じページの後段も市民になっており、市民のほうが一般的だと思う。

委員：P6 については、基本方針なので説明的にしないということと、適正なエコアップを図るではなく、適正な利用促進を図るということ。その下に中身についての説明があるからこれでいいのではないか。エコアップの促進というのが逆に曖昧な感じがする。その下に、生物多様性を促進する自然地を保全、改善するとある。あと、基本方針だから、イメージ的に写真を数点入れてもいいのではないかということだった。

委員：事例で思い浮かぶのが、北区の水辺の楽校の池と、すぐ近くにある野球場が共存している状況。あれが一番川口のイメージに近い例として浮かぶ。

議 長 : 三領の三角地点を含めて写真を入れてもいいと思う。自然・ゴルフ場・スポーツグラウンドという三つは最低でも1つの写真に入るようにしたい。

委 員 : 干潟のところ、木工沈床とラグビー場をうまくとらえて写真を撮ればよいと思う。

委 員 : 今度その部分も水辺の楽校で整備されるかもしれないという話で、イメージ図をいただいている。それを入れるという話があった。また、現状のいい写真もあれば入れたい。

川口事務局 : ただ、あれはまだ完全に決まっていないが。

委 員 : 決まった形ではないだろうが、向こう10年ぐらいでこういう水辺になるといいぐらいに載せたいと思う。

議 長 : P.7の利用例で、水辺の楽校やフットサル、ザリガニ釣りなどのイベント活用を入れてはどうかという話が出ていたが、どこに入れたらいいか。

堺委員 : ゴルフ場のところに、今ある水辺の楽校を入れたらという話がこの間も出ていたと思う。それは川口独自の項目だと思う。

委 員 : フットサルは各種競技場なので、ラグビーの後ろにフットサルを入れる。

川口事務局 : 自然保全地と利用地と明確な区分けはあるのか。

議 長 : それは、この中で自然地となっているところと、区分けで地図の上で落ちているのを見るしかないと思う。

委 員 : 保全が強めの所と利用が強めの所とグレーゾーンみたいのはあるとは思う。

議 長 : 保全地といっても三領の三角地と芝川水門の出っ張りのところしかない。

林委員 : 現存する自然環境を保全するところで、モニタリング調査があるが、それ以外にクリーンエイドや水質調査、ごみ調査、草刈りがある。

委 員 : これは各市区共通で出てきた利用例なので、川口市の独自性を出したいのであれば、ここにあってもいいと思う。

委 員 : 調査だけはいろいろやっているから、入れたほうがいい。

委 員 : ただ、モニタリング調査等は利用なのかなという感じだが。

委 員 : 利用をもう少し幅を持ってとらえて、解釈すればいいのではないか。

川口事務局 : あとは、例えばスポーツ、レクリエーションの場とかにして、ゴルフ場、野球、ソフトボールと一緒にしてはどうか。用途が違うのはだめなのか。

委 員 : ゴルフ場はゴルフ以外に、荒川ふれあいまつりやザリガニ釣りなどの環境学習、自然学習もやっている。

荒下事務局 : ここは、荒川将来像計画推進計画2010から抜き出して作っている。ゴルフ場を利用各種競技場のところに入れると、次の地区別のレイアウトが変わってしまい、他の箇所に響いてしまう。できれば、ここは変更したくない。

委 員 : 川口はゴルフ場の面積が圧倒的に多いので、それがどの程度なのかすぐに分かるように運動場とは分けたほうがよいと思う。逆にゴルフ場の中でも自然とのふれあいみたいなことをやっている。水辺の楽校は入れたほうがよいと思う。

川口事務局 : 目的はゴルフ場利用、実際には水辺の楽校もゴルフ場の休場日になるから利用例に水辺の楽校やザリガニ釣りを入れれば、荒下のプランを壊さずにいけるかなと思うが。

議 長 : ザリガニ釣りは細かいので入れなくてもいいのではないか。

川口事務局 : フットサル場は各種競技場に入れていいのか。

委員：入れていいと思う。

議長：保全管理作業はどうか。

委員：利用という感じがする。自然を保全していくために、モニタリングが必要という意味で、モニタリングが利用例に入っていると思う。自然保全地は積極的な管理が必要だというニュアンスのことを入れたい。

議長：自然地は何もしないものだというイメージの人が多いので、利用例に入れたほうがいいと思う。

委員：代表者会議でも、自然地は手を入れていかないと自然地にならないという提案が出ていたので、入れてもいいのかもしれない。

川口事務局：自然保全のための管理作業でよいか。

委員：位置付けが難しいのは、多目的地の利用である。利用がはっきりしないところもある。

川口事務局：土地利用区分はこれで大丈夫ではないか。

委員：この部分には将来の計画としてテニスコートは入らないのか。

議長：グラウンドはこれ以上造らないという方針だから、例えば野球場を止めて、テニスコートにするというのは可能だと思うが。

川口事務局：等を付けただめか。ラグビー等。

川口参与：ソフトボール場がテニスコートになる可能性を残したように。

川口事務局：ニーズによっては転用の可能性もあるだろう。

議長：含みを持たせて記載しておけばいいと思う。

委員：川口はテニスコートが少ないので、将来的にはそういう計画はお願いしたいと思う。

議長：ではフットサル等ということで含みを持たせる。

P. 8 でワンドの形成された水辺という記載があるが、川口市にワンドはないので記載を消す。P. 9 の地図は、それぞれの施設の範囲が分かるようにすること、西中グラウンド等の代表的な施設を追加する。

委員：スーパー堤防の範囲も分かるようにする。青線は要らない。あと、写真だけでなく、図上にも範囲が分かるように表示したらどうか。

荒下事務局：修正が間に合わずこのような形になっている。左側の上のスーパー堤防の写真は、高規格堤防特別区域範囲と書いてあり、一般の人が見てもよく分からないので、スーパー堤防の整備範囲の赤いラインをこの図上で分かるように修正する。あわせて、「2012 年 12 月現在」を「2011 年 12 月現在」に直す。また地図は修正しきれず、川口パブリックゴルフ場の箇所だけ川の字を直しているものと、あとは西中グラウンドを追加するというのはここに書いてあるが、リバーステーションは部分的にここだという引き出し線を出す。事務局で確認するというで一任していただきたい。下の計画は赤で書いているので見えにくい、多目的地も前は濃い緑色の自然保全地になっている部分が間違いとの指摘があり修正した。

議長：次に P. 10 についてはどうか。

委員：P10 の土地利用について、表に合わせて、円グラフの記載順序を並べ変える。

荒下事務局：円グラフの順番を変えるという話が出ていたので、修正する。

委員：写真のタイトルは、「ゴルフ場」から「浮間ゴルフ場」に修正した。

議長：ブロック区分は、上流から下流にといったほうが分かりやすいので並べ替える。また、距離を入れたので分かりやすくなった。その下の用語解説もとても分かりやすい。

委員：今、吹き出しで、「(参考) 用語の解説」とあるが、この図のタイトルとしてどこか。これが川口のどこかと勘違いする人がいるかもしれないので、タイトルを入れたほうがいい。「河川にかかわる用語の解説」とか。四角で囲ってもいい。あまり小さいと見えないから、サイズは今のままでもよいと思う。

議長：P. 12 では、「バッタやトンボなど、身近な生き物」と入れたので親しみがある。

委員：P12 に内水被害の解説を入れることでいいのか。

荒下事務局：内水被害は 4 章として別に載せようかとも思ったが、舟戸・河原町ブロックの概況ということでここに載せた。また、内被害と誤記があるので修正する。

川口事務局：(1) ブロックの概況で、「堤内地は川口市の地場産業である鋳物工場を始めとする工場と住宅が混在する」の記述はこのままでいいか。一番下流は、河原町のほうへ行くと工業地だから、人が住めなくなる。このブロック全部が混在しているということにはならないが。

委員：この中でも 2 つに分けられる形なので、上流側とか下流部等にした方がいいのか。

川口事務局：分けて記述したほうがいいのではないかと。「現在、堤内地は川口市の一番初めのものと、今できている工場と住宅が混在する地域と、もっぱら工業の何とか地域と、何とか地域があります」と。どこから下流部にするか。

委員：上流側が新市街地に近いから、そっちのほうに混在している場所ということだろうか。

議長：P. 13 の「市民団体が維持管理を行ってきた」の表現は、「行っている」でよいか。

委員：これまでの成果だから「行ってきた」ではないのか。

川口事務局：継続して行っているのだから、現在進行形の記載になっている。

議長：パブリックゴルフ場の自然度向上というのは、そのままの記載でよかったのか。やっていなければ、記載しないほうがよい。

委員：自然度向上がほぼ実現になっているので、実施した項目を具体的に書いたほうがいいのではないかと。

荒下事務局：やっていなければ未実施になるか、またはこの記載自体を消してしまったほうがいいのかということだが、川口パブリックゴルフ場に確認していない。やっていなければ取り組み課題のほうに入れ、やっていけば具体的に書く。荒下でもう一度確認する。

議長：写真はフットサル場ではなく木工沈床にすること。P. 14 の 1996 川口市地区計画図の欄にゾーン区分の表を入れること。

委員：いきなり中規模自然地や野草系広場が出てくる。昔のゾーニングの話がないとどんなものか分からない。また、取り組み課題にも、中規模自然地の形成が未整備になっていますと書くのであれば、荒川将来像計画 1996 のゾーニングをどこかに入れるというものだった。

荒下事務局：表を入れようとしたが間に合わなかった。次回までに修正する。

川口事務局：パブリックゴルフの取材によっては、この記述が変わるのか。

委員：現状を見る限り、もうちょっと努力のしようがあると思うので、課題に載せてもいいのではないかとと思うが。

- 議長 : これを書く以上、ゴルフ場には確認しないとイケない。荒川将来像計画 1996 にゴルフ場も必ずエコアップをするというのが決まっていたと思う。なので、ゴルフ場は何をするのかということはずっと問われていたと思う。どこかにゴルフ場じゃなくても荒川の自然度を向上していくという文面が入っていれば、パブリックゴルフ場も努力すべきだということにつながっていくと思う。
- 委員 : 引き続き努力を図ってもらうということと、実施しているのか確認が必要。あと、「未実施である野草系広場の整備を推進します」は、スーパー堤防の前面の話か。教習所が移転した後の計画がはっきりしていない。計画としては多目的利用地になっている。ただ、荒川将来像計画 1996 では、野草系広場になっているから、この書き方になっているのか。
- 議長 : 現況でリバーステーションの周辺が広場みたいになっているのだから、そこから手始めにして最終的に教習所の跡地が多目的の広場になればよいのではないかな。
- 委員 : 10 年後の目標なので、野草系広場を整備しますと書くのではなく、もうちょっと違う表現にできないか。本当はスーパー堤防に伴った跡地利用みたいな話だと思うが。ここに公園みたいなのができるのかと誤解を招きかねないので、この辺はあまり細かくしないほうがよいのではないかな。また、川口リバーステーションは、非常時だけでなく日常的に使うように利用促進を図ることが始まっているようなので、川口リバーステーションの活用も、「日常的な活用により、地域の防災機能の向上、周知等を図ると共に、周辺の跡地も含めた、水辺の散策や趣味の憩いの場としての整備を図っていきます」としたらどうか。
- 委員 : 全体として「荒川の自然を見守り親しむ空間として位置づけ」とあえて入れてもらったので、フットサルと河原町原っぱを分けたくない。ただ、どこかで切れないかなという感じはする。「水際の干潟」のところで切ってもいいかもしれない。同じ河原町のところの話だが、上は利用、全体の空間としての考え方とその利用者に対する理解を深めていくみたいな話で、後半はもう少し具体的に自然地をどう保全していくかみたいな話になっていくので、「水際の干潟や」から文章を分けてもいいかもしれない。あと、「河原町フットサル場は、」で文章を分けてもよいかもしれない。
- それから、「フットサルの利用と同時に自然にも興味を持ってもらうよう維持管理を進めていく」ということはすごく大切で、今後やっていきたい大切なことのひとつだが、河原町フットサル場の造られた経緯をここに書かなくてもよいのではないかな。「フットサル場ができました」というところに経緯があった方がよい。これまでの成果に、「フットサル場の計画の浮上とともに、利用者等が自然地に理解と参加を促していく新しい試みを持ちつつ、河原町フットサル場がオープンしました」というところを、全体面積の内、整備した面積がわかるものを載せたい。
- 川口事務局 : 文章が長いため、フットサル場の記載を分ければよいのではないかな。
- 川口参与 : 最初に河原町原っぱと河原町フットサルという全体の話をしている。ここで「進めていく」で 1 回終わり、次は河原町原っぱ、3 つ目で河原町フットサル場が書いてある。この流れでいくとフットサル場の利用のことを書いてもいい気がする。一番頭にバランスのとれた利用施設と自然地のバランスをとった感じと書いたもので、同じことをフットサル場でうたう必要はないのではないかな。

川口事務局：後段のフットサル場は要らない気もする。

委 員：河原町原っぱ等の面積は、あえてここに入れてもらったのか。

議 長：いや、入れてもらうという話ではなかった。入れてもらっても面積というのは占用地と全体の話だろう。全体面積であり、占用地の面積は4,000m² ぐらいじゃないか。

委 員：河原町原っぱ全体面積約 24,000 ということは、水際も含めてということだろう。24,000m² のうち2,000m² というとてもすごく少ない感じがする。

議 長：川口市占用地何m² のうちと書くと分かりやすいが。

整備したものであるというのは、フットサルか。2,000m² ではない。数値的にまず間違っているのではないか。

委 員：フットサルの面積ではないか。

議 長：フットサルは3,000m² だと思った。

委 員：数字の整合が取れないのであれば、記載しない方がよい。

川口参与：フットサル場をせっかく作ったのだから利用を促進していく必要がある。そして、自然についても、それぞれに利用の促進をしたほうがいいのではないか。

委 員：3 行目で双方の利用者に対して適正な利用を進めていくと書いてあるから、要らない感じもする。このニュアンスは双方の利用者が対立するのではなく、お互い理解し合って協力し合おうというわけで、フットサルとしての利用は促進を図っていいと思う。また、そういう特殊な河川敷の自然地の中のフットサル場だということを理解して欲しいということは前段に書いてある。それは維持管理についても同じ。

川口事務局：ただ、適正な利用を中ポチして、維持管理を進めていきますとすれば、下はカバーできるか。

委 員：市がよければそこから先はまとめて、一緒に出してもよい。

議 長：適正な利用と維持管理を進めるに入れればよい。

川口事務局：P. 15 の河原町原っぱのところの前段と最後のところの2つを一体としたらどうか。面積とかに触れるところは市としては必要だろう。だから、例えば前段で「市民に対し理解と協力による適正な利用の促進、及び維持管理を進めていきます」。それで「河原町原っぱは」とまた分けて残す。

委 員：取ってよければ、取ってもいいかなという気がするが。その前に、利用の促進と入るのであれば、いいのではないか。最後の「・」の「利用者の」は要らない。

議 長：最後の「・」は委員がずっと言っていたゴルフ場の問題を直接的挙げるわけにはいかないで、ちょっとやんわりとした表現として出している。

委 員：利用者への啓発を図るといっているのはどういう意味か。

堺委員：多分これはマナーにかかってくる啓発だと思う。利用ルールの啓発ではないか。

委 員：ゴルフ場ではそういうルールはないだろう。パター専用になれば危険性はない。坂路付近のコースは、防護措置を施すかパター専用にする等の方法はあると思う。また、利用者が逆に回る場合がある。要するに、上流側から来る場合もあるし、下流から上へ行く場合もあるし。あれこそマナーの欠如だろう。

委 員：そういう意味でその啓発を図りますというのがあり、それを危険行為だということを分かってもらわなくてはいけないのか。

委 員：ああいう打ち方をしたら、当然事故は起きる。

委 員 : そういう危険性もある場所だということを理解して利用してもらうというか、ゴルフ場のあそこに関しては、こういう書き方でよいのではないか。

荒下事務局 : 前回市民会議で今までゴルフ場がどういう対策をとってきたか教えてほしいという話があり調べた。平成 19 年、20 年に防球ネットを付けた。平成 22 年 11 月に、場外に球が飛んでいく事故防止ということで、荒下事務所とゴルフ場で、安全に対する話し合いの場を持った。経営に関する部分もあるので対応については難しいこともあるが、飛んでくる球の対策はゴルフ場が自ら考えて自らの負担で実施するよう話をしており、ネットの設置、レイアウトの変更、使用するクラブの制限等の話をしている。この話が出たのもやはり市民会議だった。今後もゴルフ場に情報提供しながら、占有者が知恵を絞って考えるよう指導していきたい。

議 長 : P. 16 は写真の差し替えと解説の文書を追加したいと思う。P. 17 は水辺の楽校プロジェクトで、こういう活動を出しでやるかどうか。写真は、荒川町の違う写真を載せたほうがよいのではないかと思う。

委 員 : ブロック概況に水辺の楽校を入れるのではなく、水辺の楽校や河原町の話を出して各ブロックの後ろに付けるか、別に章立てして、2 つ 3 つ特出しにしてもいいかなという話をしていて。足立区はそういう形でやっていたので参考にする。そこに経緯や事業を、水辺の楽校については事業そのものについての解説も含めどんな取り組みをやっているのかももう少し詳しく、写真も含めて紹介したほうがよいと思う。今ここに出ている水辺の楽校プロジェクトの写真や図は、川口の水辺の楽校とタイプが違うので写真は除かれているようだが、水辺の楽校イメージ図は川口の水辺の楽校とはタイプが違うのかなという話もあったかと思う。河原町原っぱと水辺の楽校はリーディングプロジェクト的な取り組みでもあったので、特出しにしたかどうかという案である。ここはブロックの概況なので、水辺の楽校の写真もあってもいいが、別の写真を入れる。

川口事務局 : まず水辺の楽校で 1 ページ他へ載せて、裏に活動の写真でよい。

委 員 : 実際の取り組み事例があった方がよい。例えば、水辺の楽校の協議会構成メンバーや、学校の協力事例や、どのような方が利用しているかがあってもよいと思う。市民に対するイベントも実施している。希望者がすごく多いというのを前ここでも紹介していただいたので、載せてもよいと思う。

議 長 : ゴルフ場とふれあいまつりというのも面白い。ふれあいまつりの写真をいれてもらいたい。

委 員 : ふれあいまつりは面白いと思う。なかなか普通のゴルフ場を会場として開催しない。

川口事務局 : ふれあいまつりは載せないだろう。

委 員 : ザリガニ釣り授業以外に親と子の自然観察活動をいれたい。

委 員 : それは水辺の楽校の紹介のところにを入れるのか。

議 長 : 写真を差し替えていただくということで、P. 18 に行く。

委 員 : 「素掘りの水場」は「素掘りの水路」ですね。

荒下事務局 : これは誤植です。水路です。

委 員 : 多様な利活用ということで、ふれあいまつりも成果の一つに入れるのか。

川口事務局 : 荒川の河川敷を知ってもらう意味では入れたほうがよいと思う。

委員：多くの市民が来ている。自治振興課は荒川ふれあいまつりと荒川クリーンエイドの川口会場のリンクを評価している。建設管理課も荒川ふれあいまつりというレクリエーション機能だけではなくて、荒川の自然保全活動にもつながるクリーンエイドと長いことリンクされ、暗黙の了解じゃないが何となく教育委員会にもつながっているの
で、それも成果の一つじゃないか。

川口事務局：やはりクリーンエイドも入れておかななくてはならない。

委員：レクリエーション機能としての利活用と、保全活動としての利活用があり、両輪になっている。

議長：クリーンエイドは川口市の中でも会場が多々あるため、個別に紹介したほうがいいと思う。

委員：春のクリーンエイドは単独で開催されているが、荒川ふれあいまつりのクリーンエイドは特殊で、リンクすることでシナジーになっている面白い展開の仕方で、ほかとは違う。だから逆にここで取り上げても面白いのではないか。

委員：これまでの成果というのは、今のクリーンエイドの話や将来像計画に示された計画なり目標なりに関わる成果もあると思う。整備に関わらなくても、そういう活動なり連携体制が取れて新しい活動が生まれたことも成果にはなるとは思う。取り組み中心の成果は特出しのところに書き出すと細か過ぎてしまう。ふれあいまつりは、ゴルフ場を会場に使用する面白いもので、例えば「ここはゴルフ場、水辺の楽校を中心に
して、学校、市民さまざまな人に多く利用されています」といろんな連携の下にふれあいまつりなんかも開催されているという一文を加えてもいいと思う。逆にそれをもっと前面に出したいなら、取り組みの大きな一例として特出しの一項目に加えるとか、こういう活動をしていますと、市民と行政で連携してやっているという話を入れたらどうかと思う。ここにそれを入れると他とのバランスを考えるとどうかという気がする
のが。

議長：ふれあいまつりは市の主催なので、これまでの成果の中に入るだろうし、入れたいと思う。

委員：足立区では5つの事例に関して、特に中心的に整備等も含めて取り組みがあるということで、新しく章を加えている。それに近いような話の内容を川口でも入れられ
ないかなという話を前回の運営会議でしていたが。

委員：ここに入れることに固執するのではなく、他にはないところで何か反映できるようなのがあればというところである。

議長：クリーンエイドは特出しでいいか。

川口参与：これまでの成果は、ハード面を意識している気がするが、ソフト面での成果のほうが多いと思うので、その辺を考慮したい。

委員：施設ができて使われなければ意味がないだろう。

川口参与：みんなに、より活用されるようになったというのが成果のような気がするが。

委員：ふれあいまつりもソフト面の一つである。

議長：では、そこは修正していただいて。P.19の地図は特になし。P.20は。

委員：ですます調に、「図る」を「図ります」にしたほうがいい。

川口事務局：最後の「水際部の自然地の整備を行い」とあり、内容が重なるので、「自然地の整備

については」として、「連続的あるいはスポット的に可能性のある場所を検討し進めていきます」としたい。

委員：一つにまとめてもいいのかもしれない。これは水辺の楽校というか、護岸部のイメージ図を P. 21 に入れるという話だった。

委員：P. 21 水際部の自然度向上の矢印方向が違わないか。もう少し左では。

川口事務局：荒川運動公園というのは何か。

委員：荒川運動公園は池のほうであるため。

委員：もっといい写真に差し替える。三領運動場も夕暮れ時で寂しい。グラウンドなどは使用している状況がわかるものが良いのと、緑豊かな写真にするなど。

議長：利用している写真が一番いい。

委員：私もピックアップすると言っているがまだしていないので、改めていきいきとした写真を材料として持てきたい。

議長：あとは P. 23、24。

荒下事務局：P. 22 以降は前回時間がなかったので、事務局で目を通すよう言われたが、P. 22 から 24 までは、各市区とも同様な書き方になっていて、一般的な維持管理や市民の役割を記載している。修正したのは P. 25 で、「市民が行う維持管理」なのに河川管理者がやるような硬い表現になっていた箇所があったので修正をした。

委員：P. 24 で「適切な利用に努め、又」の「又」は漢字ではなく大体ひらがなで書く。他のページもひらがなになっている。これだとすごい古くさい。同様に「川口市が行う維持管理」で「大別して自然地とグラウンド等の 2 つになり、各々」の「おのおの」は柔らかい言葉にならないか。それぞれ、互いにと同じ意味でも柔らかい言い方で修正してもらいたい。ここで使っているなら他の市区も同じものを使っているだろうから、チェックして柔らかめのかな表記や文言にした方がよさそうな感じがする。

委員：P. 25 の「川の通信簿」のかっこはあえて外したのか。「川の通信簿」は多分事業名だろう。川の活動をしている人は、大体「川の通信簿」のことを知っていると思うが、「川の通信簿を実施」といきなり来るとどうなのかなと思った。クリーン活動なら一般名称的にいいと思うが、「川の通信簿」は一つの事業に対する参加みたいなことか。

荒下事務局：そうである。

委員：「川の通信簿」への参加」にしておいたほうが、市民が主体的に実施する事業みたいな感じになっているのでよいと思う。

議長：P. 26 も特にない。P. 28 まではいいか。あと特出しとして何を入れていくか。

委員：別の章を作るのか、それともブロックごとに最後のところに資料的に入れるか。例えば、河原町原っぱなら写真もそうだが、年間どんな活動をしているか例を挙げて紹介するようなところがあってもいいのかと思う。浮間ゴルフ場も同じところで紹介するなど。

委員：水辺の楽校も、河原町原っぱの取り組みや荒川クリーンエイドとふれあいまつりの合わせたレクリエーションの利活用と保全活動のリンクというものを何か入れたい。

委員：紹介をすることに異論はないと思うが、どこにどういうふうに編集するか。

委員：別立てのほうがすっきり感はあるか。

議長：いろんなところの様子がまとめて見られるから、別立てでいいか。

委員：「荒川維持管理の考え方」の前に新たな３として入れるか。

委員：別立てで特出しということは、ある意味他の市区にない川口らしい利活用のページにもなるということか。

委員：例えば、これだと２.５という位置づけをしているので。２「荒川づくりの考え方」としてブロック別計画が来て、ブロック別計画の後に「地区の取り組み事例」と入れているので、大きい３にするのではなく、似たような形でここに入れるといいと思う。

議長：あとは何を載せてどのように表現するか。水辺の楽校と、クリーンエイド。

委員：それから河原町原っぱ。

委員：クリーンエイドはどのような形で載せるのが良いか。クリーンエイドの活動全体について載せるか、ふれあいまつりとの関連を載せるか。

委員：クリーンエイド自体は各市区でやっている。先ほど言ったのは、ふれあいまつりと一緒にやっている特徴的な事例というもの。

委員：市と一緒にやっていますということか。

議長：１ページあるから、クリーンエイドができた最初の目的も紹介したほうがいいと思う。

委員：他の市区でもやっているから、ここではあくまでも川口市の特徴的なものだけでよいのではないか。

委員：例えば、水辺の楽校というか、浮間ゴルフ場の取り組みの一つとして、どういうふうにしたほうがいいのか。クリーンエイドはクリーンエイドで独立したほうがいいなら。

議長：それでふれあいまつりの写真を加えて、行政と１０年来一緒にやっているという紹介をしたほうがいい。

委員：北区の子どもの水辺や江戸川区の水辺の楽校でクリーンエイドをやっている。河原町原っぱの春と秋のクリーンエイドは、そちらと共通性がある。

委員：クリーンエイドはクリーンエイドでとにかく一つ紹介するのがいいのではないか。

川口事務局：ふれあいまつりも出したほうがいいような気がする。その中でクリーンエイドとリンクして、と書いておけば。

委員：ふれあいまつりは荒川上流の秩父市からメッセージが来る。それをステージで読み上げ、下流と上流の荒川を通じたつながり。あと、農協大滝支店が毎年物産を持ってきて、単なるビジネスを超えた上流とのつながりとして、毎年市民が楽しみにしている。

議長：ふれあいまつりの中でクリーンエイドを紹介し、クリーンエイドのページは特に設けなくてもよいのではないか。

委員：ふれあいまつりはふれあいまつりの意義で、そういう上流とのつながりは入れ込み、クリーンエイドは河原町原っぱの春と秋にやられていることから特出しは必要ではないか。

議長：それとはまた別だから。

委員：いや、違う。荒川ふれあいまつりは、クリーンエイドとリンクしている川口市独自のことを記載するが、クリーンエイドの特出しは各市区でもやっているクリーンエイドのことを記載するのではないか。

議 長 : 河原町は河原町で、こちらのほうでやるから。クリーンエイドを入れるか入れないかというのは逆。

委 員 : クリーンエイドとして独立した項目を入れるかどうかという話。1枚作るかどうか。活動の写真を載せ、クリーンエイドの趣旨みたいなことと、他の会、市区でもやっていることも含めて川口市ではここでやっている、春と秋にやっているという紹介で、例えば学校の参加もあるとか書いてもいい、紹介してもいいと思うが。

委 員 : その際は河原町原っぱのクリーンエイドの取り組みを一緒に入れて、ふれあいまつりとの絡みのものも入れる。

委 員 : クリーンエイドをメインに書くということだから。

議 長 : 河原町は一会場だから。ふれあいまつりもそこで紹介する。

川口事務局 : ふれあいまつりも1つ載せて、クリーンエイドも載っている。それで、こういう趣旨で設立されて、年間こんな形でこの地区でやっていますというのをうまく写真があれば出せるのではないかと考えている。

委 員 : 水辺の楽校と河原町原っぱとふれあいまつりとクリーンエイド。4つで行こう。

議 長 : ページ的に、水辺の楽校に、裏表というか、見開きで2ページにしたい。

川口事務局 : 水辺の楽校の概要を片方に載せ、もう片方には活動の実際を載せる。

議 長 : 河原町とふれあいまつりは2ページ欲しい。

川口事務局 : ふれあいまつりは1ページで大丈夫ではないか。

委 員 : 荒川クリーンエイドはどうするか。

議 長 : 1ページ程度か。

委 員 : 文章はどのくらいのボリュームになるのか。

川口事務局 : 写真の入れ込みでも変わる。クリーンエイドもだんだん書いていき、こうリンクさせて成果を挙げている、程度でいいのではないか。ふれあいまつりはまた別にメジャーだろうから。

委 員 : とりあえず、これだけまとめておけば、あと写真は適当に。

議 長 : 写真はクリーンエイドの事務局にあるだろう。

委 員 : 河原町のクリーンエイドというか、水際のごみ拾いしているものはある。

川口事務局 : 入れるなら大急ぎでやらないと、時間切れになる。

委 員 : 私は釣り堀池のほうのものもある。

委 員 : 最終的に段取りはどうなのか。

荒下事務局 : 今日出た修正項目は事務局で修正する。悩ましいのが特出しページの材料で、業者との契約が3月30日で切れるので、材料だけでも早めにいただいて形を作りたいが。

委 員 : 全体の細かい修正はフォーラムをもう一回開いて最終確認するのか、もう協議会までできたものでいくものなのか、運営委員会で確認するのか。

荒下事務局 : 次の協議会では全地区分を出したい。川口市が市長に説明したいのでなるべく早めにとという話で、スケジュールは今後川口市と相談する。

委 員 : 市民会議は今日が最後ではないのか。

荒下事務局 : 市民会議の場では言っていなかったが、市民会議を一回休止して次の整備計画の意見を聞く場をつくるという提案に対し、各市区からいろいろ反響があり、また、代表者会議での質問に対して返事がまだできていない状況である。現在、事務所で検討し

ている状態である。決まっていないものに対していきなり休止はあり得ないので、8期は2年間このまま続ける。ただ、策定が7月半ばというのは変わらないので、スケジュールは川口市と相談する。

川口事務局：フォーラムか運営会議かどう位置づけをするかは別として、やらなきゃならない。今新たに特出しというのができたので、意見をある程度入れ込む形を見せないと。

委員：いつまでに上げるのか。

川口事務局：7月半ばとすると。荒下のデッドラインはいつか。

委員：最終その協議会に間に合えばいいのだろう。

荒下事務局：協議会に間に合えばいいというのは荒下の話だが、自治体によっては、議会報告、議会の承認、パブコメ、市長説明等、手続きは市区ごとでそれぞれ違うので、どうするかは何とも言えない。

川口事務局：今のところ、市長説明予定だけである。

委員：私の意見では、最終的にできたものをもう一回市民会議で確認したほうがいい。それまでの作業や特出しの話は、材料さえ出せばたたきを作っていただけるということか。

荒下事務局：もしくは、とりあえずワードに写真を貼って、文字を書いて内容を固めて、デザインのものは5月のゴールデンウィーク明けに修正する。

川口事務局：内容とイメージは手製でいいのではないか。

議長：そうすると、次回は5月連休明けか。

川口事務局：いや、先にやらないとはだめだろう。手製のものでイメージ図ができるのであれば、4月半ばぐらい。うちも人事異動があってガタガタするが、やらないとならない。

議長：日程は決めなくていいか。

川口事務局：今、決めるなら、決めたい。荒下の貼り付け作業がどのくらいかかるか。

荒下事務局：特出し以外は、現在の契約している委託業者に指示をして作業する。

委員：やるとしたら半ばぐらいか。それは運営委員会か。

川口事務局：もう運営委員会です。皆さんに認知してもらうということが大事だから。4月16日の週ではどうか。

議長：17日18時で。

委員：特出しの内容はどうか。

委員：かわぐちっ子のほうは提案書を1回出しているので、そこから抜粋してまとめる。

委員：クリーンエイドに関してはこちらで。3月中は厳しいだろう。ふれあいまつりは、水辺の楽校は、公園緑地公社で行う。

委員：特出しのページは、それぞれが担当して。修正版と合わせる形にする。

川口事務局：4月1週目中に何とか締めていないと難しい。この週の10ぐらい。4月9日には荒下に送ってもらわないと、合わせる作業が間に合わないのではないか。

委員：それは大まかな体裁は整えた形で送ってということか。

川口事務局：はい。

委員：では少なくとも文だけを送る、写真は後でくっつけてもよいと思う。

川口事務局：写真もできれば送ってほしい。データがあれば一番いいが紙でもいい。スキャンして載せられるし。5月で大体完成しないと、市長に説明後の修正作業が間に合わない。

委 員 : 写真を差し替えなければ、作業として3月中に送らなくてはダメだろう。

荒下事務局 : 3月中に案を送って欲しいが、無理ならとりあえず素材だけでも送信して欲しい。

委 員 : 特出しは4月第1週でいいか。9日月曜までに。

荒下事務局 : 地区別計画は他の市区でも作ってもらっているのに、川口市だけ荒下が受け持ち作業は出来ない。

委 員 : 要するに、川口市に出せばいいということか。最終的に特出しの新たな原稿は、川口市がするという事か。

荒下事務局 : そうである。